

会 議 録

会 議 の 名 称	平成19年度 第1回 岩城地域協議会
開 催 日 時	平成19年5月23日(水) 午後3時00分
開 催 場 所	岩城会館
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
【会議次第】 1. 開 会 2. あいさつ（協議会会長） 3. 協議事項 (1)平成 19 年度主要事業進捗状況と平成 20 年度主要事業計画について(総合支所長) (2)公立保育園の指定管理制度導入について(福祉保健課長) (3)岩城コミュニティバスについて(主幹兼振興課長) (4)由利本荘市さくらマップ・紅葉マップについて(振興課課長補佐) 4. その他 ◆由利本荘市の財政状況等について(佐々木理事) 5. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

◆出席者名簿

〔委員：22名、他17名〕

(敬称略)

会 長	前川 侔	委 員	早川あけみ	理事	佐々木永吉
副会長	今野次男	委 員	堀井ヤス子	総合支所長	渡部専一
委 員	長谷部鋼次	委 員	須田まり子	主幹兼振興課長	渡部進
委 員	三船丸男	委 員	奈良禎子	主幹兼保育園長	鈴木憲
委 員	堀井盛男			市民課長	佐々木了三
委 員	進藤三男			福祉保健課長	小川弘
委 員	佐々木力ネヨ			産業課長	伊藤尚武
委 員	今野清子			建設課長	渡部 昭
委 員	進藤敏和			教育事務所長	斎藤忠廣
委 員	金森巳嗣			生涯学習課長	堀井幸二
委 員	高野弘美			亀田出張所長	佐藤利一
委 員	伊藤修二			事務局	佐々木直樹
委 員	佐々木稔子			事務局	大竹 晃
委 員	阿部一雄			事務局	尾留川真由美
委 員	中村慶一			事務局	高山淳一
委 員	佐々木由美子			事務局	村上大輔
委 員	今野房夫			事務局	堀川勝栄
委 員	今野正樹				

【欠席者】 進藤貢委員、高野啓二委員、竹内善治郎委員、渡部秋美委員、船木敬子委員、三浦稔委員
川上淳子委員

会議の経過

平成 19 年度第 1 回岩城地域協議会

平成 19 年 5 月 23 日（水）

午後 3 時開会

●前川会長あいさつ

●岸野区長あいさつ

●佐々木理事あいさつ

◇議長

これより協議に入ります。まず、協議事項（１）の平成 19 年度主要事業について、事務局の渡部主幹より説明願います。

●渡部支所長

渡部主幹の説明の前に、私から重点事業について何点か報告させていただきます。

◇議長

それでは、渡部支所長より報告ください。

●〔渡部支所長より下記の事項について報告〕

- ①ケーブルテレビ事業の状況について
- ②海岸林の松くい虫被害跡地の整備について
- ③施設の指定管理について（亀田保育園等）

◇議長

続いて、渡部主幹より平成 19 年度主要事業について説明していただき、その後に支所長の報告と合わせてご質問をいただきます。

●〔渡部主幹より平成 19 年度主要事業、機構改革、年間行事予定等について説明〕

◇議長

それでは支所長の報告と主幹の説明を通して、委員の皆さんよりご質問はありませんか。

○A委員

①道川漁港のブリッジ（橋梁）の歩道に車イスで乗り入れることが出来ない状態なので改善していただきたいが、見通し・見解を伺いたい。

●伊藤産業課長

①現場の状況をもう一度確認したうえで善処するよう検討する。

○B委員

- ①このような各地域での意見交換の機会においては、構えることなく本音で語り合える場であって欲しいし、地域住民の本音を汲み取ってもらいたい。
- ②市の職員にはもっと庶民（弱者）の気持ちを理解してもらいたい。貧しい中で、税や公共料金を納めている人たちの気持ちを理解してもらいたい。
- ③8つの地域自治区があるが、各地域の歴史と伝統を大切にし、“地域”というものを大切にしてもらいたい。

●佐々木理事

- ①～③市長並びに市当局としてはこれまでも地域協議会などで出された意見には一つひとつ丁寧に対応してきたと思っているが、今の声は持ち帰り伝える。

○B委員

- ①今、現実として合併後サービスが低下したのではないかという声が聞こえてくるが、それは総合支所に権限、力が無いからではないか？ もっと総合支所の権限を強化してもらいたい。
- ②8つの地域自治区にはそれぞれ特長があるのだから、皆を画一的に同じレベルにするのではなく、それぞれの特長を活かした施策を行ってもらいたい。

○C委員

- ①財政状況が厳しいからという理由で、これまで当地域で長年続けてきた「花いっぱい運動」がやれない、学校の整備についても新改築3校のことがあるので他の既存の校舎修繕が出来ないというような状況であると聞こえてくるが、このようなことはおかしいのではないか？
- ②合併から3年が経過しようとしているのだから当初の玉虫色の計画では無理があるのは当然であり、今の財政状況に照らし合わせて、どれを優先するかを検討してローリングをして再計画したらどうか？ 財政状況を分析してもっと全市民に対して情報・状況を開示すべきだ。「今の財政状況はこうなのだから、今年はこういうことを優先してやろう、来年はこうしよう」という形でもっと分かりやすく説明してもらいたい。
- ③今後の財政を考えると、第三セクターの経営状況などもとても気になるし、こういった点についてもきちんと開示すべきだ。

●渡部総合支所長

厳しい財政状況の中で、新しい施策もあれば、取り止めなければならないものもどうしても出てくる。何を優先すべきかも含めて検討していく。建設計画については毎年ローリング作業を行っているのでご理解いただきたい。

●佐々木理事

財政状況の診断では決して危機的な状況にはないとのことである。各地域の建設事業が合併後5年間くらいに集中しているので、ここ数年が一番のピークで、財政的にきつい時期であろうと判断している。18年度に引き続いて、19～20年度くらいは蓄えを取り崩して手当てしなければならないだろうが、やるべきことにはきちんと手当てするようにしている。

○B委員

- ①10年間で人口が1万人減るということは納税者も1万人減るとのこと。合併特例債を使って合併直後から多くの事業をやって大丈夫なのか？この後の財政運営をきちんと考えてやってもらわないといけない。
- ②役にたつ人が役人であり、役にたつ人が居るところが役所なのだから、きちんと役にたつ仕事をしてもらいたい。

○D委員

- ①合併して一番良くなったのは旧本荘市だけという声が多く聞かれるので、そういった声があることをよく考えてもらいたい。
- ②農業基盤整備などもっと細かなところにも目配りして対応してもらいたい。農業も高齢化が進んでいるのだからそうした傾向に対応した施策を展開してもらいたい。制度や事業があるならばそれをきちんと周知して意向等を把握する努力をしてもらいたいし、岩城地域の場合は兼業農家が主なのだから、何でもかんでも由利牛ではなくて、それぞれの地域に合った農業展開を図ってもらいたい。

●渡部支所長

農業も高齢化が進み、単独ではやっていけないような時代になってきたので、集落営農を推進しようという形態になってきており、諸制度と合わせて説明にも出向いているが、今後も周知に努めていく。また、岩城地域の農業の在るべき形態を探りながら、地域性を活かした施策を検討していきたい。

○E委員

- ①端的に言って、これまでの借入総額はいくらくらいあるのか？

●佐々木理事

詳細な資料は今持ち合わせていないが、一般会計で780億円くらいではなかったかと思う。

○B委員

- ①それは一般会計だけのことで、特別会計を加えると雄に1,000億円は超えるはずである。

◇議長

そろそろ時間も押し迫ってきましたのでこれで意見交換を終了することとしますが、最後に岸野区長より一言ごあいさつがあるそうですので、区長どうぞ。

- ◆岸野区長あいさつ（6月の退任により区長としては最後の地域協議会となる見通しであることから、御礼のあいさつ）

◇前川会長

以上をもちまして、平成19年度第1回地域協議会を閉会します。

◇閉会 午後4時40分